

ロシア 東欧 経済速報

(社) ロシア東欧貿易会

2004年（平成16年）12月25日号 No. 1316

目次

● ウズベキスタン・アゼルバイジャン経済の現状	輪島 実樹 1
—企業支援事業の現場から—	
● 統計速報	9
2004年1～9月の日本の対CIS・中東欧輸出入通関実績／9	
2004年1～9月の日ロ貿易 —輸出入合計で60億ドルを突破—／10	
● エトセトラ	12
『調査月報』2005年1月号のご案内／12	
ロシアの地方行政政府のリンク集／12	
● ロシア東欧経済速報 2004年(平成16年)掲載記事一覧	13
● ロシア東欧貿易会関連の行事予定	14
● CIS・中東欧諸国通貨の為替レート	14

ウズベキスタン・アゼルバイジャン経済の現状 —企業支援事業の現場から—

はじめに

ロシア東欧貿易会では12月9日、「ウズベキスタン・アゼルバイジャン経済の現状 —企業支援事業の現場から—」と題し、会員向けのメンバーズ・ブリーフを開催した。当会では、中央アジア・コーカサス地域の企業に対するコンサルティングを通じ、同地域の産業育成を促進する事業を手がけており、本年度はウズベキスタンおよびアゼルバイジャンがその対象となっている。これらの事業は、現地企業に密着する形の仕事であるだけに、普段外部からはうかがい知れない経済の現実を把握する良い機会でもある。今回のメンバーズ・ブリーフでは、本事業の担当者である輪島実樹調査役が、企業支援事業の現場で見えてくる様々な現実を紹介することを中心に、ウズベキスタン・アゼルバイジャン経済の最新事情について報告した。今回の速報では、この報告要旨をお伝えする。